

祝 百歳おめでとう

市は、9月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

柏木ふみさん(江刺区大通り)は宮城県志津川町(現南三陸町)に生まれ、昭和13年に故・嘉兵衛さんと結婚。3人の子をもうけ、孫3人、ひ孫2人に恵まれました。夫が満州で戦病死してからは、ほとんど一人で家業の割烹店「鹿嶋屋」を切り盛り。県遺族会副会長、民生児童委員など社会貢献にも尽力しました。恥ずかしそうにしながらも、立ち上がって「ありがとうございます」と感謝を述べたふみさん。長男の勇一さん(73)



お祝いの花束をもち、家族に囲まれるふみさん



高橋喜代志水沢総合支所長から記念品を受け取るマサさん

は、2人でお酒一升を飲んだ思い出を語ってくれました。

清原マサさん(水沢区羽田町)は北郷ノ木(江刺区愛宕)に生まれ、18歳のころに故・甫さんと結婚。2人の息子をもうけ、孫5人、ひ孫5人に恵まれました。嫁ぎ先で米や葉タバコなど農業に精を出し、近隣の種苗農家の手伝いもこなすなど、仕事の手際も良い働き者と評判だったマサさん。体が丈夫でこれまで大きな病気にはかからなかったという「魚が好きで、特にあら汁が大好き。畑仕事で長寿の秘訣なのは」と次男の妻榮子さん(65)は嬉しそうに目を



家族に囲まれ100歳の喜びに笑顔を浮かべるスヘさん

及川スヘさん(江刺区田原)は同区稲瀬に生まれ、18歳で故・健寿さんと結婚。1男4女をもうけ、孫12人、ひ孫9人に恵まれました。大工をしていた健寿さんが出稼ぎで東京へ行っている間、畑仕事やヤギの世話など何でも一生懸命に取り組んで家計を支えました。趣味は6代から始めた御詠歌。地域の仲間と全国大会にも参加しました。長男の正一さん(78)は「誰にも分け隔てなく孫にも親切。毎日が楽しい、何でもおいしいと言っているいつも笑顔を絶やさない」と母の温かさを語っていました。

細めていました。

今野選手が男子100mバタフライで優勝



3つのメダルを胸にさらなる高みを目指す今野選手

8月22日から26日まで、東京都江東区で第38回全国JOCジュニア五輪カップ夏季水泳競技大会が開催され、水沢南中学校1年の今野文翔選手が準優勝に終わった同春季大会の雪辱を果たし、見事優勝に輝きました。今野選手はこの大会、50mバタフライと200m個人メドレーで準優勝した後、100mバタフライで59秒43の自己ベストで優勝。3つのメダルを獲得しました。日頃、持久力とパワー強化を中心とした練習メニューを取り入れ、オリンピックメダリストの萩野公介選手のような活躍を目指し、来夏の全国中学校水泳競技大会出場を目標に掲げています。

栄誉 全国の舞台で活躍

全国JOCジュニア五輪カップ

本城さんが女子ソフトボール投げで優勝



小さな体から驚異的な数字を記録した咲良さんと田面木教育長

全国小学生陸上交流大会

8月22日、横浜市港北区の日産スタジアムで第31回全国小学生陸上交流大会が開催され、前沢小学校6年の本城咲良さんが女子ソフトボール投げで66mを記録し、金メダルを獲得しました。

甲子園球児の父を持ち、小柄ながらソフトボールスポーツ少年団・前沢フェニックスのエースとして活躍する咲良さん。その肩の強さを買われ出場した県記録会で優勝し、本県代表として今大会に出場。ただ一人60m以上を投げ、2位以下に7m以上の差をつけて優勝しました。「中学や高校ではソフトボール部に入部し、陸上でも投てき競技で活躍したい」と今後を語る咲良さん。将来は看護師になることを夢見ています。

ILC国際化推進員 トマス・アンナの

Vol.4

あんなことこんなこと



ILCにまつわる話題や、アンナさんの目線で見た本市の姿などをお届けするこのコーナー。今回はアンナさん作の漫画「Z項の発見」をお届けする特別編です。

こんにちは、アンナです。仕事をしていると、奥州市のいろいろなことを発見します。Zアリーナなどの「Z」の由来が「Z項」であることを知ったのもその一つです。困難に立ち向かう、ヒーローのような木村栄所長。この100年以上前の、水沢観測所でのZ項発見にまつわる物語を皆さんにわかりやすくお届けできるかなと思い、漫画にしてみました。奥州市は、昔から科学のまちだったんですね。



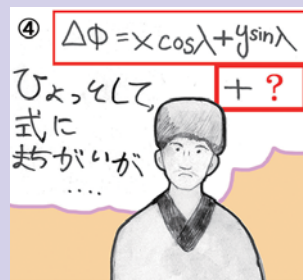
地球は軸ががたがたのコマのようにぶれながら回転(自転)しています。これを証明するための研究が世界6カ国の観測所で1899年に始まりました。観測所の1つは水沢にありました



しかし、水沢の観測結果はいかげんだとドイツから注意を受けてしまいます



水沢観測所の木村所長がどこがおかしいのか調べたところ...



地球の軸に関する数式に足りないものに気付きました



それが「Z項」です。そして、従来の数式にZ項を加えると水沢の観測結果が最も正確だったことが分かりました



その後、木村栄はドイツの学会などから表彰されました

姉妹都市 静岡県 掛川市

掛川だより

綱引きなど熱戦繰り広げる 市民スポーツ交流フェスティバル開催



地区の誇りをかけ、懸命に綱を引く参加者ら

掛川市やNPO法人掛川市体育協会などが主催する第11回市民スポーツ交流フェスティバルが9月20日、総合体育館「さんりーな」で開催され、市民約2,700人がスポーツの秋を満喫しました。地区対抗戦ではドッジボールや綱引きなどで熱戦が繰り広げられたほか、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの試合会場の一つに静岡県小笠山総合運動公園エコパスタジアム(掛川市と隣接)が選ばれたことから、ラグビーボール送りやタグラグビーの新種目も加わり、みんなで楽しみました。また、飛び入り参加できるトランポリンや輪投げ、脳トレーニング、ニュースポーツ体験など、子どもから大人まで多彩な種目を楽しみました。